

ダイバーシティ（多様性）時代のケアやサポートに役立つ、
新しい看護のための1冊！

2025年
2月刊行！

これからの

地域看護学

多様性と包括性をふまえた
看護実践に向けて

【編集委員】

渡邊多恵子

淑徳大学看護栄養学部看護学科

関 美雪

埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科

望月宗一郎

健康科学大学看護学部看護学科

佐藤美由紀

新潟大学医学部保健学科

小川 純子

淑徳大学看護栄養学部看護学科

坂井 志織

淑徳大学看護栄養学部看護学科



- ・改正カリキュラムの「地域・在宅看護論」に対応！
- ・「演習」の部もあり、コンパクトな1冊で基礎から実践までをしっかりカバー！！

B5判 / 192頁 二色刷
978-4-254-33013-7 C3047
定価3,740円（本体3,400円）

朝倉書店

●目次

第I部 人々の暮らしと生活と健康支援

第1章 人々の暮らしと生活

人々の暮らしとその多様性 / 食生活の変化 / 家族、コミュニティ、きずな、つながり、宗教

第2章 健康生活支援の基盤

日本国憲法と生存権の保障 / 健康とウェルビーイング / 国際生活機能分類 (ICF) / ノーマライゼーション / プライマリヘルスケア (PHC) / ヘルスポモーション / 持続可能な開発目標 (SDGs) / 健康日本21 とスマート・ライフ・プロジェクト

第3章 社会環境と健康

健康の社会的決定要因 (SDH) と健康格差 / 物理的環境と健康 / 労働と健康 / 学校と健康 / 食と健康 / テクノロジーと健康 / コミュニティ / 公共空間の健康一人々を健康にするまちづくり / 地域包括ケアシステム

第4章 健康生活支援に必要な健康行動を引き出すカ

ヘルスリテラシー / レジリエンス / 首尾一貫感覚 (SOC) / パラダイムシフト

第II部 人々の生涯に寄り添う看護

第5章 ライフコースアプローチ

ライフコースアプローチとは / ライフコースアプローチの理論的背景 / 妊娠期から終末期までの各ライフステージの特徴 / 多様性を踏まえて / ライフイベントと転換点 / 文化と社会の影響 / ライフコースアプローチの実践的活用

第6章 多様な健康上の課題への支援

メンタルヘルス / 難病・障がい / がん・慢性疾患 / 特定妊婦 / 子ども虐待 / 高齢者虐待 / 認知症 / 感染症・健康危機管理

第III部 演習

第7章 コミュニティ・インサイト演習一人と環境のアセスメント / 地域アセスメントの目的と意義 / 地域アセスメントの理論的基礎とフレームワーク / 地区視診・地区踏査 / 地域アセスメントにおけるデータ収集と分析の具体的手法 / 地域資源一多様なステークホルダーとの協働を含む

第8章 学びの灯を灯す一クリエイティブなワークショップ手法 / 多様性を考えるための準備 / 多様性を考え実感し我が事にする / 看護における多様性と包括性

●読者対象

看護学の学生 (大学, 短大, 専修学校) のほか, 看護師, 保健師, 薬剤師, 理学療法士, 介護士など

第5章 ライフコースアプローチ

5-1 ライフコースアプローチとは

Summary

・ライフコースアプローチでは, 疾病の発症を生避にわたって受けた曝露とそれらの相互関係から包括的にとらえる。ライフコースアプローチが着目されたことにより, 生活習慣の背景にある要因にアプローチを行う「ゼロ次予防」の重要性に対する認識が高まっている。

これまで日本の国民健康づくり運動は, 脳卒中の発症予防等の生活習慣病予防に向けて, 喫煙, 塩分摂取, 運動不足等, 高血圧や糖尿病等の生活習慣病のリスクファクターに対する取り組みに重点をおいてきた。2024 (令和6) 年から開始される健康日本21 (第三次) においては, 「健康寿命の延伸・健康格差の縮小」に向けた戦略として, 従来から取り組んできた「個人の行動と健康状態の改善」「社会環境の質の向上」のほかに, 新たに「ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり」が加わった。ライフコースアプローチは, 「胎児期, 幼少期, 思春期, 青年期およびその後の成人期における物理的・社会的曝露による成人疾病リスクへの長期的影響に関する学問」であり, 成人期における疾病の発症, 胎児期や幼少期, およびその後の人生をどのような環境で過ごし, どのような軌跡を辿るかによって異なる。このように軌跡に対してアプローチを行う。ライフコースアプローチの概念

1. 極めて「長期的」な影響を及ぼす
2. これまで個別に論じられてきた栄養状態, 社会経済学, クルヴィラ (Kuruvilla S) から発したライフコースアプローチ, 筋力, 心血管出力等の機能 (capacity) の生涯にわたる経路ともに資通するが, 本人に与える影響が異なる。機能的な能力と本人に備わっている能力 (レジリエンス) と社会システム, 社会文化がライフコースアプローチを生涯を通じて支える。

84 第5章 ライフコースアプローチ

る安全場が必要である。「スキル」には, 価値観等の対立の解消や問題解決技術や, 対話を促すコミュニケーションスキル, アサシオントレーニング等が含まれる。

3. 多様性と差別

さらに, 「多様性」について考え, 「違いは個性である」とことや, 「それぞれの価値観の尊重」のために, 個人が抱える無意識の偏見 (アンコンシャス・バイアス) と, 社会における制度的・文化的差別等の構造的差別があることに気づくことが重要である。無意識の偏見とは, 「男だに拉いではいけない」「A型の人は神経質だ」「普通は〇〇だ」等, 過去の経験や知識, 価値観, 信念をベースに認知や判断を自動的に行い, 何気ない発言や行動として現れる, 自分自身は気づかないもの (見方) 等と捉え方がみである。差別の問題を構造的な問題としてとらえることが必要である。

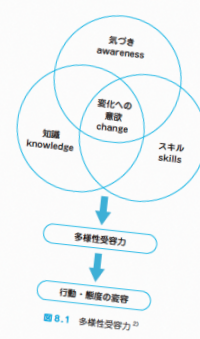
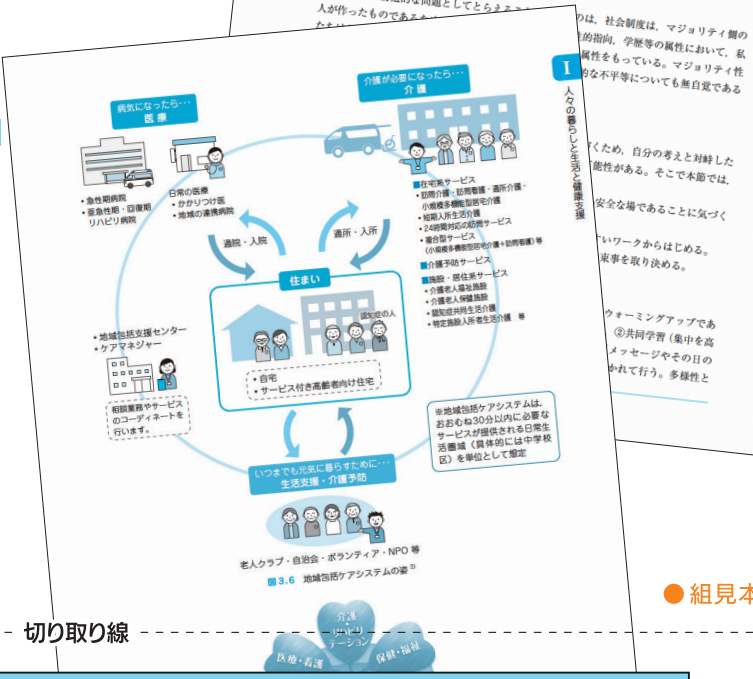


図 8.1 多様性受容力



1 人の暮らしと健康支援

は, 社会制度は, マジョリティ側の目的, 学歴等の属性において, 私的性をもっている。マジョリティ的な不平等についても無自覚である

くため, 自分の考えと対峙した能力がある。そこで本節では, 安全な場であることに気づく

「ワーク」からは始める。家事を取り決める。

ワーキングアップである共同学習 (集中を高メッセージやその日のかけて行う。多様性と

●組見本

切り取り線

【お申込み書】こちらにご記入のうえ、最寄りの書店にご注文下さい。

これからの地域看護学		冊	取扱書店
B5判 192ページ 定価3,740円 (本体3,400円+税)		ISBN 978-4-254-33013-7	
お名前	<input type="checkbox"/> 公費 / <input type="checkbox"/> 私費		
ご住所 (〒)	TEL		



〒162-8707 東京都新宿区新小川町 6-29 / 振替 00160-9-8673
電話 03-3260-7631 / FAX 03-3260-0180 / <https://www.asakura.co.jp> / eigy@asakura.co.jp

価格表示は2024年12月現在